

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	竹原市立竹原中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「非認知能力の向上を目指した学校行事の取組実践」について		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像

生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
①自己表現する力は概ね身につけてきている。 ②課題対応能力（PDCA サイクルの活用できている生徒約20%）については課題がある。 ③「自ら目標を持ち行動する力」や「目標を達成するために変わろうとする力」に課題がある。 ④自らの考えや行動に自信をもって取り組めない生徒（約20%）が存在する。	①「学校行事」に計画的に取り組んでいく中で、 自己の役割や立場を理解 する。 ②縦割り活動や異年齢集団との交流を通して、 非認知能力 （自己効力感〔自信〕や思いやりなど）の向上を目指す。 ③学校教育目標である「誇りをもち、主体的に生きる生徒の育成」を目指す。

◆ 取組の具体的内容

取組を実施する意図及びねらい
① 年間に計画されている学校行事をより 計画的且つ効果的 に実施するために工夫改善していく。 ② 「自己効力感や思いやりなど」の非認知能力を高めるために、 縦割り活動や異年齢集団などの交流 を通して役割を与え、自らの行動に自信や思いやりの心が高まっているか適宜調査を実施する。 ③ その力を生かして、これからの学習や運動など 学校生活全般において効果があること を期待したい。 ④ 各行事の意義を理解し、自己の役割を理解し、計画的に取り組むことや目標が達成できるような体系的な活動を実践し、 課題解決する力 を育む。

取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等

<p>【学校行事・生徒会行事】</p> <p>4月 1学期始業式・入学式 オリエンテーション ボランティア活動① ☆生徒会と部活動の発表</p> <p>5月 体育祭 ☆縦割りソーラン他</p> <p>6月 生徒総会 ☆生徒会や学級で話し合い活動</p> <p>7月 1学期終業式</p> <p>8月 平和学習 ☆生徒会中心に折り鶴作成</p> <p>9月 2学期始業式</p> <p>10月 ボランティア活動②③ ☆地域と協力した取組</p> <p>11月 文化祭 SMILE PARK ☆生徒自らが企画運営する</p> <p>12月 2学期終業式</p>	<p>≪4月オリエンテーション≫ : 生徒会執行部を中心に運営</p>  <p>≪5月体育祭≫ : 各団長を中心に協力</p>  <p>≪6月生徒総会≫ : 生徒の意見を含めて協議</p>  <p>≪10月ボランティア活動≫ : 自主的な参加で多数貢献</p>  <p>≪11月文化祭≫ : 最後は全校生徒で合唱</p>  <p>≪11月SMILE PARK≫ : 生徒自らが企画運営する</p> 	<p>【アンケート実施】※全15項目実施</p> <p>① 4月アンケート（実態把握） □自己効力感 79.8% □思いやり 94.4%</p> <p>② 5月アンケート（運動会后） □自己効力感 88.9% □思いやり 99.5%</p> <p>③ 7月アンケート（1学期末） □自己効力感 86.0% □思いやり 96.5%</p> <p>④ 11月アンケート（文化祭後） □自己効力感 86.6% □思いやり 99.5%</p> <p>⑤ 12月アンケート（2学期末） □自己効力感 86.2% □思いやり 98.9%</p> <p>○自己効力感 6.4% UP↑ ○思いやり 4.5% UP↑ ※4月から12月の結果より</p>
--	--	--

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）

<p>○特別活動（学校行事や生徒会活動など）を計画的に実施し、生徒が自らの役割を果たしてきたことで、非認知能力調査で多くの項目において向上する値が見られた。（全15項目中13項目で向上）</p> <p>●縦割り活動（学校行事や日常の掃除など）や異年齢集団との交流において他者との関わりの中から身につけた力を「学業」や「運動」、「進路実現」など様々な場面で生かしていくことに繋げていきたい。自己肯定感や自己有用感など、自尊感情を高め自信をもって自らの行動に主体的に取り組み、考えて判断して行動する力をこれからも育むためにも、より計画的な活動を実践していく必要がある。</p>
--